

1. 件名：川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の地震等に係る新規制基準
適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年7月14日（木）16時00分～16時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、海田主任安全
審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主
任技術研究調査官、松末技術参与、馬場係員

九州電力株式会社：赤司副本部長 他6名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※録音機器の不具合により、00:00～00:21間は自動文字起こしができていません。

6. 提出資料

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 玄海原子力発電所3号炉及び4号
炉 標準応答スペクトルを考慮した評価について（令和4年7月1日審
査会合における指摘事項）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。
0:00:04	はい。それでは九州電力、川内玄海の面談の方を始めたいと思います。一応これ、前回7月1日の会合ですね。
0:00:17	このラップアップということで、
0:00:20	当然資料の方ほぼ説明というか一応九州電力の方から、
0:00:26	ですね審査会合のコメントということでまとめておりますので、
0:00:30	一応高齢、前回の会合でのコメントをどう認識してるかっていうのを簡単をお願いします。
0:00:41	はい九州電力の高田です。よろしく願いいたします。
0:00:45	まず本日のご説明資料の確認ですが1枚、川内玄海共通で標準応答スペクトルを考慮した評価について、令和4年7月1日審査会合における指摘事項という資料になります。
0:01:00	早速ですが2枚目になります。
0:01:04	こちら、7月1日の審査会合でいただきましたコメントを三つ記載してございます。まず一つ目はプラント側を含めた審査全体のスケジュールを示すこと。
0:01:17	二つ目は今回、地下構造モデルの変更の方針を変更していることから、説明済みとなっているコメントに関しても、改めて説明すること。
0:01:28	あと最後三つ目ですが、ボーリング調査において減衰特性だけでなく伝達特性、具体的にはV _s や総速度層に関する情報もえられるので、
0:01:39	それも踏まえて設定した地下構造モデルの保守性を示すという趣旨で、
0:01:45	記載としましては、新たなボーリング調査からえられる結果を踏まえ、設定した地下構造モデルの保守性を示すことということで以上、三つのコメントでございます。
0:02:01	あ、すみませんよろしいでしょうか。
0:02:03	続けてどうぞ。はい。九州電力のイマバヤシです。資料に基づく説明はちょっと以上となりますけれども、今後の審査のスケジュールについて、ちょっとお話をさせていただきたいと思っております。
0:02:17	戸塚ごめんなさい。そうしましたらですねちょっと一応コメントのところで補足だけ。わかりました。はい。
0:02:24	1点目これ私が申し上げたコメントですけどプラント側と調整したスケジュールをっていうこれ意味ではないので、何かプラント側の方、ホームじゃいつぐらい説明超えるかっていうふうに聞かれても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	なかなか調整しがたいところであると思いますので、後ろ全体のスケジュール見通して、その中で我々、この地震津波の方に何をいつ持つてくるのかっていうスケジュールの見せ方なので、
0:02:48	プラント間を含めた全体スケジュールをきちっと固めてっていう、趣旨そこまでの趣旨ではないんですね。はい。
0:02:56	多分それは介護の時にも言ったつもりではあるので、
0:03:00	当然、これまでの経験ながらこういうもの、プラントの地震動変わった場合に、プラントのところでのどのぐらいの説明時間が要るっていうのは、経験的にわかってるかと思いますので、
0:03:11	御社なりのスケジュールということで出してもらえればという、そういうそういう趣旨ですはい。
0:03:17	単なる補足ですけれども、
0:03:19	そうしますと今あれですね前回の会合のときにも少しこのスケジュール、
0:03:26	地盤減衰とかですね地下構造モデル位置付けとか直近説明書しようとしてるところのスケジュールっていう話にはなりましたのでそのスケジュールについて何かあるということですね。はい。お願いいたします。
0:03:40	九州電力の今田伊勢氏、改めてになりますますが、話を説明させていただきます。
0:03:45	前回7月1日の会合で、今後の審査スケジュールをお示しさせていただきました。資料でいきますと川内は、6ページ玄海は5ページになりますけれども、
0:03:58	こちらで、全体のスケジュール感というのをご提示させていただきました。その中で、地盤減衰、
0:04:06	につきましては、2回のご説明をさせていただきたいということで、まず最初に、ともさ他、それから岩石コアの結果についてを、
0:04:17	7月に資料提出させていただきまして、8月に審査会合をさせていただきたい。そして続きまして田崎、コアの試験の残りの部分、それから、
0:04:29	ボーリングで獲られましたQ値の結果につきましては、10月に資料提出、そして会合といたしました1011月を希望すると。
0:04:42	いうスケジュール感をご提出、辞させていただきました。
0:04:47	一方で、先ほどコメントの三つ並べたうちのコメントの3、
0:04:53	なんですけども、こちらのコメントというのは、今回新たに当社データを取得いたしますけれども、そこでられた値、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:04	ていうのは3、ともかくといたしまして伝達特性であったり、総合的な分析をした上で、最終的に県、
0:05:14	地震動を策定する地下構造モデルが保守的になってることを示すと、そういうふうなコメントだと認識してございます。
0:05:23	そうしたときに、地盤減衰のコメント回答を、現在、2回ということを示しておりますけども、その2回に分けて説明するのが、
0:05:34	審査を効率的に進めることになるのかどうかというのをちょっと社内でもちょっといろいろ検討してございまして、
0:05:43	当社といたしましてはもう2回に分けるのではなくてこれを、これらのデータがすべてそろって、なおかつ地下構造モデルの妥当性を説明する。
0:05:54	それ、その機会を1回にする。すなわち、10月への資料提出、そして11月の審査会合、こちらにまとめてはどうかと。
0:06:05	いうことを今検討してございます。
0:06:07	ただ、ちょっと気になっておりますのが、前回の会合からまたちょっと日がたっていない中で、ちょっとそういうスケジュール感の見直しをすることに関しまして、
0:06:18	ちょっと我々もちょっとどうかなというところがありまして、こちらについてちょっとご意見をいただければというふうに考えてございます。
0:06:26	以上です。
0:06:40	名倉さんお願いいたします。
0:06:48	はい。
0:06:50	規制庁の名倉です。
0:06:53	まずお話になられた、
0:06:59	7月に、既存ボーリングのコアによる減衰調査の結果を、
0:07:05	提出して8月会合、
0:07:08	については、うん。これ私ども、この機会に説明したとしても、
0:07:17	減衰に関してし審議状況が進むわけでもない、ないので、
0:07:22	そういう意味ではそれすべてそろえて、10月資料提出11月会合、こちらの方で、地下構造モデルの
0:07:32	妥当性を、トータルで説明するということの方針については、その方がこちらとしても、
0:07:42	介護の運営の観点ですけれども、合理的に審査会合を進めることができるんじゃないかというふうに考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:51	ただちょっと一点懸念しておりますのは、最終的に結果をすべて同一の機会以示すということですと、
0:08:02	結果を示してから、方法とか方針が若干こう、
0:08:09	何て言うのかな、出戻りが生じてということが生じる可能性があるの で、できればですね、
0:08:19	9月ぐらいに資料提出してもらって9月ぐらいかな。
0:08:24	1回
0:08:26	調査の大体概要も見えてくると。
0:08:30	実際どういうふうに減衰をとか地下構造モデルを設定するかというところの、
0:08:37	具体的な方法、
0:08:40	とか条件、こういったものが見えてきた段階で1回説明をしていただいて、
0:08:46	それで方針方法について押さえておくということが、これは会合の運営上、多分、ある程度重要じゃないかなと思って、
0:08:58	ています。出戻りを防止するという意味において重要ということです。
0:09:03	従いまして、そちらから提案いただいた、
0:09:07	10月11月の方で地下構造モデルの妥当性を説明するということに関しては、これはその方がいいだろうと思いますけど、
0:09:16	その前に、1回方針方法の結果を示していただくことが出戻り防止の観点で、
0:09:25	必要ではないかというふうに考えております。
0:09:29	これについてはちょっとどのように考えている、入れてますでしょうか。
0:09:35	はい。九州電力のイマバヤシです。今稲村調整官の方からおっしゃられた考え殊、理解いたしました当然我々も結果を一応
0:09:46	1度に出しましてそこからご説明する中でやっぱり、
0:09:50	いろいろ最初の方針のところ、今いろいろな手戻りとかがありますと、やっぱり工程にも効いてくるということもございますので、1度、9月をちょっと今日安でってということをおっしゃられましたけども、その時期を、
0:10:04	念頭に置きまして、まずはその調査の状況、それからその次調査を基にどういう方向性で検討していくかっていうところをですねお示しするような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:14	説明の場を設けさせていただければと思っております。
0:10:19	以上です。
0:10:26	花村です。わかりました。
0:10:28	ということで今回のヒアリングとか面談ですねこれ面談ですね、この面談に於いて、7月2、資料提出して8月に会合というところの、
0:10:41	既存のボーリングのコアを活用した減衰の検討については、これはプロセスを一つ省略しますと、
0:10:51	ということで、期、
0:10:54	四国電力はすみません九州電力の考えは理解できました。
0:10:59	おそらくこのようにするというので、こちらも了解ということですよ。
0:11:05	それに変わらして、9月ぐらいに、方法、方針方法、具体的な方針と方法について、
0:11:16	1回説明を入れると、これ会合を行うと。そのあと結果が出てから、10月11月11月ぐらいの会合ということで説明を行うと。
0:11:28	ということでこれも一応了解いたしましたので、このヒアリングをもって、そのように変更したということで、理解しました。
0:11:46	このような理解で一応よろしいですか。
0:11:54	はい。はい。九州電力のイマバヤシです。すみませんちょっと1点確認をさせていただきたいんですけども、9月に方針、
0:12:04	日当についてご説明した内容につきましてちょっとまた会合でご説明するという理解でよろしかったでしょうか。
0:12:14	規制庁の名倉です。
0:12:16	はい。できれば会合をやりたいと思っています。
0:12:21	はい、承知いたしました。
0:12:25	あ、すみません規制庁鈴木ですけども、テインだけ、地盤減衰の件、結構なんですけどそういえばその地下構造モデルの位置付け、
0:12:35	これは今、7月8月じゃ、これ、これ別途やるという意味じゃないんですけど、これはその9月の時に、
0:12:42	説明それとも11月の方に説明。
0:12:45	こちらで考えてます。
0:12:51	九州電力のイマバヤシです。今、9月11月の2回ということに、話になっておりますがこちらの地下構造モデルの位置付けにつきましては9月の会合でご説明できるというふうに考えております。
0:13:04	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:05	多分ご覧になられてるか一応7月6日、別に御社限りじゃなくて、全プラントのその審査の進捗の話規制委員会に報告した際にですね、
0:13:16	たまたまちょっと地下構造の話が確か質疑か何かで出ていたと記憶を して、
0:13:22	おそらく地下構造の方についてもですねこれいわゆる新しい知見データ を取って新しい地下構造を作るならこれ古い地下構造との関係はどうな んだって話も、
0:13:33	これ出ていたのですね。
0:13:35	新しい地下構造、地下構造というものは、物体は同じなはずなので地下 の地盤ですから、
0:13:41	ということで中委員長からもそういう話があったような記憶があります ので、
0:13:46	地下構造のモデルの位置付けというのは、確かにおっしゃるように、 あとではなくて、先の9月、先の方の会合早い方の会合の方で、
0:13:55	もともと7月下旬資料8月会合っていうふうに出ていますんで、9月の方 の会合ということですね。はい。
0:14:02	理解しました。
0:14:16	お願いします。
0:14:24	よろしいですか。
0:14:27	どうぞお願いします。
0:14:29	はい。
0:14:30	あと1点ですね
0:14:33	推本の方から、
0:14:36	日本海の海域の活断層、日本海の西部の方の
0:14:42	海域の活断層、
0:14:45	に関しての長期評価と、
0:14:48	それからあと、琉球海溝沿いから南海トラフ沿いですかね、プレート間 地震に関しても、いろいろと長期評価とか、知見を出されておりますの で、
0:14:58	それに対しての対応に関して、
0:15:02	資料を準備して、まずヒアリングで、説明をちょっとし、していただき たいと思います。
0:15:09	その結果を、ある程度事実確認できた段階で、
0:15:15	必要に応じて会合で確認するという行為をしたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:21	これについては準備ができていますでしょうか。
0:15:27	九州電力の徳永です。地震本部の長期評価につきましては5月11日のヒアリングでご説明した内容から、
0:15:36	いただいたコメント、スクリーニングの基本方針であったり地震本部と当社評価の際の部分のところを、現在整理をされていて、概ねネタはそろいつつあるんですけれども、
0:15:48	現在資料を作成しているというところでございます。それで、今度の先ほどありました9月の更新方法並びに位置付け、地下構造モデルの位置付けをご説明します日や、会合のところ、
0:16:01	地震本部の長期評価の部分についてもご説明を差し上げたいと思いますが、
0:16:07	差し上げたいと思ってございます。以上でございます。
0:16:22	慶長の名倉です。わかりました。9月の
0:16:27	地下構造にモデルの位置付けとそれから方針具体的な方法、
0:16:34	に関して、
0:16:35	ヒアリングと会合を実施する際に、
0:16:41	推本に関しての知見に関しての対応ということについては、以前1回ヒアリングで聞いておりますけれどもそれに対するコメント回答、それから、会合での審議を一応、検討しますということで、今お話されたということで理解しました。
0:16:57	以上です。
0:17:07	はい。
0:17:08	他はよろしいですかちょっとすみません先ほどのスケジュールの件なんですけれども、今口頭で、ほぼ認識としては合ってるんですけれども、
0:17:19	簡単な、1枚紙というか前回の会合で、何ページで、前回だと仙台だと5ページですかねスケジュールありますけど、
0:17:28	今まさしくその7月8、7月は、資料提出8月会合って言ったものをずらしますっていうところだけ、
0:17:36	何ていうか、はっきりわかるように、資料、また改めて面談もしませんけれども、資料受領しましたという形で、明確にお互いで認識共有した資料として、
0:17:49	お出しいただくことは、これは可能ですか。
0:17:56	九州電力高田です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:59	今ご指摘の内容新たにちょっと工程表、先日の会合の資料を修正するよ うな形で、資料作成いたしましてご提出させていただこうと思います。
0:18:13	本当にそのスケジュールウーだけで結構ですし、前回会合で行ったプラ ント全体のっていうところはそこはもう無視してて結構なので、当然
0:18:23	分を地下構造モデル位置付け地盤減衰のこの辺、このところの説明です ね、スケジュールとしてどういう予定かっていうところ、そこだけの差 分で結構ですので、はい。
0:18:34	お願いします。
0:18:37	注記いたしました。
0:18:43	はい。他何か。
0:18:47	吉井ですか。
0:18:52	よろしいですか。
0:18:56	それではでは、面談の方終了したいと思いますどうもお疲れ様でした。
0:19:03	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。